

第2回JSPO国体発第190号  
令和3年2月1日

都道府県体育・スポーツ協会  
事務局長 様

公益財団法人日本スポーツ協会  
事務局長 根本 光 憲  
( 会 印 省 略 )

第76回国民体育大会冬季大会スキー競技会の中止について（通知）

平素より当協会スポーツ推進事業に対し、格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、2月1日開催の令和2年度第3回臨時国民体育大会委員会において、標記競技会を中止することを決定しましたので、ご通知申し上げます。

なお、中止理由は別紙のとおりとなります。

また、参加料及び参加資格等については、下記のとおりとしますので、併せてご承知おきください。

記

1. 同封資料：中止理由
2. 参 加 料：納入済みの参加料はご返金いたします。
3. 参加資格等の取扱い  
3月4日開催予定の第4回国民体育大会委員会にて審議する。

【お問合せ先】国体推進部 国体課 TEL03-6910-5808  
E-mail : kokutai@japan-sports.or.jp

※緊急事態宣言に伴い在宅勤務等をしている関係から、電話がつながりにくくご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解の程よろしくお願いいたします。

## 第 76 回国民体育大会冬季大会スキー競技会（秋田県）中止理由

第 76 回国民体育大会冬季大会スキー競技会については、以下の理由により安全・安心に大会を開催することが困難な状況となっている。

- 会場となる鹿角市花輪スキー場は、国体スキー競技全種目の会場が集中しており、開会式典を実施せず、無観客開催とするなど運営上の工夫では、運営本部や待機所等において参加する選手や監督、運営関係者の 3 密を十分に回避することが困難。
- 選手団の宿泊について、宿泊施設の構造上個室が 2 割しかないため、選手等関係者が相部屋になることにより感染リスクが高まる状況。
- 医療体制について、鹿角市の受入可能病床数が 2 床（最大確保想定 6 床）と脆弱であるとともに、広域医療体制の中核として想定していた秋田市内の基幹病院において院内クラスターが発生するなど、県内でも陽性者が急増し、病床負担も増していることから、選手等関係者に感染者又は感染疑いが発生した場合の秋田県の医療体制に重大な懸念。
- 1 月 18 日に秋田県は、独自の「新型コロナウイルス感染警戒レベル」をレベル 3 に引き上げており、県民に感染者が多い地域との往来の自粛を強く要請している状況。秋田県内の感染は主に他県との往来によるものであること、また上記の医療体制を踏まえると、秋田県としては、緊急事態宣言発出地域 11 都府県も含めた全国から多くの大会参加者を受け入れることが困難。
- 感染への不安から、ボランティアなどの競技会を運営するための協力員の確保が困難となってきている状況。